事	業番号	1 (	5 06 32	事第	<b>美</b> 改善	シー	ート(27	年度実	施引	事業分) [	□予算要	求	口当初 <sup>-</sup>	予算案 □	補正予算	案  ■	Ⅰ点検	
± 44 5												担	部局	<b>局</b> 健康社	畐祉部			
爭	業名	á	夫婦で考える妊娠・出産啓発事業										課・	室 保健・	疾病対	策課		
<i>61</i> \\ <i>1</i>	^ - <i>1</i> . /	_	プロジェクト									当課	E-m	ail <u>bosh</u>	i-shika	@pref.r	agano.lg.jp	
総計画	今5か <sup>4</sup> 画		<b>正</b> 策の総合的展	單丨			進県の実											
		/31	37K - 7 No. Cl 8 37.50	受体制	の充実					美	[施期]	Н	27	$\sim$				
1	事業0	)概	要															
妊娠・出産の適齢期や不妊・不育等の正しい知識を普及啓発し、子どもを持つことを希望する夫婦が、E協力し、前向きに妊娠・出産を考えるための機運を醸成する。また、不妊や不育の状況にある夫婦の気付きを促し、相談・治療につなげることで、子どもを持ちたいといる。																		
	現状 5算編成 時)  妊娠適齢期や治療に限界があること、夫婦での検査・治療の重要性についてあまり知られていない現状があり、今後も夫婦が不好等に悩む前に、正しい知識を得て妊娠を計画できるよう、一層の啓発が必要である。									不妊や不育								
県が関与する理由県関与の必要性あり 専る理由【左記の説明、根拠法令等】 母子保健法第9条 地域少子化対策強化交付金交付要綱(国)																		
			氏との協働によ ) 成果目標(H2		<b>俊</b>	丁疋	-u-w/ 1	コハリンドル		1.1 业人口女师	· (D)							
		2	・将来子どもを望む夫婦を対象に、妊娠・出産に関する正しい知識の普及や不妊・不育症に係る支援事業等の周知を図るためのセミナーを開催(2回) ・健康づくりと妊娠するための助言、不妊・不育の不安軽減、検査・治療方法の紹介を行う個別相談会を開催(土日及び夜間)(6回) ② 事業内容															
l				<del>-</del>		実施方法	74-	1105 + 246 + 544							H27		H28	
			項目				女	H27事業実績						(当初)	当初) (決算		(当初)	
成果目標• 事業内容			子どもを望む夫婦向けセミナー				正しいタ	将来子どもを望む夫婦を対象に、妊娠・出産に関する 正しい知識の普及や不妊・不育症に係る支援事業等 の周知を図るためのセミナーを開催 6,560 6,560								0		
			個別相談会			直接		建康づくりと妊娠するための助言、不妊・7 軽減、検査・治療方法の紹介を行う個別相						85	4	644	0	
											合		計	7,41	7,204		0	
	区	分	(単位:千円)	25年度	26年	· 使	27年度	28年度	1				成里日	標の達成物	长记			
			(平位: 11 <u>)/</u> 前年度繰越	20-12	20-	12	27 丁汉	20十段		-T P	_		H26末	(小水V) (上/火·1)	H27		H28	
	予算 —		当初予算				7,414	7,414		項目	1		(実績)	目標	成果	達成状		
事	額		補正予算							子どもを望む			_	2回	2回	達成		
業			合計(A)	0		0	7,414	(	)	けセミナーの開催	・の開催					,,,,,		
П			般財源 						1									
	Aの 財源	県国	_ <u>恒</u> 車支出金			-+	7,414		1									
ス			<u> </u>	0		0	0	-										
7	決	<del>算</del>	額(B)				6,625		1									
	概算	_ —	战員数(人)				1.00											
	人件	1	既算人件費(C)			0	8,276											
概算事		事業領	費(B(A)+C)	0	0		14,901	0		<u> </u>								
する	票に対 6成果 犬況	セ	ミナーにより多く	くの子どもを	- 空むラ	夫婦の	参加を得	るため、参	ѝ加者	音にとって共愿	べん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	れるよ	うな著	名な夫婦を	講師とし	、2回開	催した。	

## 2 今後の事業の方向性

<b>人</b> 然 古坐	■ 事業を実施しない	□ 事業を見直して実施	□ 事業を現行どおり実施
今後、事業 をどのよう			
	平成27年度で事業は終了		